

重要取組シート

危機管理室 危機管理課

取組項目		災害に関する情報発信の強化
現状・課題		○防災行政無線屋外スピーカーは災害時における避難情報の伝達等を行うための重要な手段の一つであり、適切な保守管理・更新を実施する必要がある。 ○大規模災害発災時において通信回線等が途絶した際にも、確実に情報を伝達する必要がある。 ○防災情報は多様な手法を用いて迅速かつ確実に市民に伝達する必要がある。
取組の内容		○大規模災害時に有線回線や携帯電話ネットワーク網の両方が途絶した場合にも、防災関連システムや WEB 会議システム等を使用して被害情報の収集や防災関係機関との情報共有等を行えるよう衛星通信機器を導入する。 ○防災行政無線屋外スピーカーについて、災害時に確実に情報発信できるよう定期的に機器点検・動作点検を実施する。 ○市民に対し迅速かつ確実に防災情報の伝達を実施できるよう、防災行政無線屋外スピーカーに加えて緊急速報メールや L アラートを通じたテレビ・ラジオ、大阪防災アプリ、Yahoo! 防災速報アプリ、ホームページ、SNS など多様な手法を活用した情報発信を行う。また、発信に備えた訓練を実施する。 ○令和 8 年度から運用開始予定の新たな防災気象情報を踏まえ、情報発信の内容を見直す。
スケジュール	前期 (～9月)	☐ (随時) 危機管理室員情報発信訓練を実施 (定期実施) ☐ (随時) 防災行政無線屋外スピーカー機器点検・動作点検 (定期に実施) ☐ (随時) ホームページ掲載内容の充実 ☐ (5 月) 各種防災関連システムに係る研修 (危機管理室員対象) を実施 ☐ (5 月) 水害対応訓練を実施 ☐ (8 月) 台風対応訓練を実施 ☐ (9 月) 防災情報システム O-DIS 研修 (全職員対象) を実施
	後期 (～3月)	☐ (10 月) 衛星通信機器の導入・取扱訓練を実施 ☐ (3 月) 令和 8 年度から運用開始予定の新たな防災気象情報を踏まえた発信内容の見直しを実施
	次年度以降	☐ 迅速かつ確実な避難情報の発令等のため職員を対象とした機器操作研修及び訓練を継続
進捗の状況	前期 (～9月)	
	後期 (～3月)	

(様式 4)

2025	堺市基本計画	該当する 施策	5－（１）自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災力の向上		
		寄与する KPI	－		目標値（2025 年度） －
未来都市計画	堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 11	住み続けられるまちづくりを	
		寄与する KPI	－		目標値（2025 年度） －